

京都市から社会人になる門出の時を迎えた皆様へ

新型コロナウイルス感染症拡大と共に、学生生活最後の一年間を過ごされ、この度の緊急事態宣言延長で、卒業式も卒業旅行も自粛を余儀なくされていると聞き及んでおります。

異文化に触れたり、晴れの舞台を友と分かち合った若き日の経験は、昭和生まれの私にとって、今でも幸せな時間として思い出されます。

その幸せが欠けてしまう世代の皆様へ、酒造組合として、せめて門出の祝いを贈らせてもらいたいと考えました。

古より、人は集い、知識を分かち合い、諍いをおさめ、芸術を愛でてまいりました。

そして酒は、いつも、人々の喜怒哀楽と共にあり、人生の節目に寄り添ってきました。

日本酒は國酒であり、酒米と水とが醸すシンプルな酒は、酒蔵を起点にその地の風土を反映します。

京都市内（伏見区をのぞく）で日本酒を醸造しているのは、現在、松井酒造・佐々木酒造・羽田酒造の三社のみ。

京都市内の大学に通われていた間に、三社のお酒を口にしたことはありますでしょうか？

この「緊急企画 祝い酒プレゼント」が新たな京都との出会いとなり、皆様の未来に、幸せな気持ちで「京都の日本酒で乾杯！」する機会が多くあることを、切に願っております。

令和三年二月五日

京都酒造組合 理事長

松井へ来穗